

印象主義と芸術のかたち

4/23(土) 14:00~16:00

講師 ◆ 伊藤 悠貴 / 荒井 喜矩

共演: 中村 愛

内容 ◆ 第1部「学際的に紐解く印象主義とその起源」

第2部「印象主義の音楽と絵画」

まとめ「印象主義とは」

象徴主義と芸術のかたち

10/8(土) 14:00~16:00

講師 ◆ 伊藤 悠貴 / 中村 愛

内容 ◆ 第1部「学際的に紐解く象徴主義とその起源」

第2部「フランスにおける象徴主義」

第3部「イギリス、ロシアにおける象徴主義」

まとめ「象徴主義とは」

受講料 3,050円 定員 45名

会場 学園創立50周年記念館ホール

講師・共演者紹介

伊藤 悠貴 (いとう ゆうき)

(チェロ奏者)



15歳で渡英、王立音楽大学にて学ぶ。これまでにフィルハーモニア管弦楽団、ケルンテン交響楽団、読売日本交響楽団など国内外の主要オーケストラと共演を重ね、ウィグモア・ホールでのリサイタルをはじめヨーロッパ、アジア、北米、アフリカ各地での

演奏会、音楽祭に出演。幅広いレパートリーの中でもとむけラフマニノフ作品、イギリスのチェロ作品に精通し、第一線で活動を展開している。齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

荒井 喜矩 (あらい よしのり)

(絵画研究者)



カミーユ・ピサロ研究を中心に印象主義芸術の精神性を追求し、絵画、音楽、文学による学際的な研鑽を積む。税務会計職等に従事する傍ら多くの文化人と交流し、講義、文筆などを通して19世紀芸術理念の継承

に注力している。2022年よりクラシック音楽専門インターネットラジオOTTAVA「The Romantic」準レギュラーに就任。日曜画家。

中村 愛 (なかむら めぐみ)

(ハープ奏者)



協奏曲、リサイタルのソリストとして精力的な演奏活動を展開し、国内主要音楽祭に定期的に客演。ロマン派作品のハープ版編曲、また知られざる名曲の発掘・研究をライフワークとし、2022年には浜離宮朝日ホール主催によるオール・フォーレ・リサイタルに於いて自身の編曲による「レクイエム」チェロ&ハープ版全曲を世界初演するなど、各地で実演により紹介している。アルバムはキングインターナショナルよりリリース。

♪ 上記以外にも楽しい講座を沢山ご用意しております。お気軽にお問合せ下さい。♪

お問い合わせ
お申込み先

東邦音楽大学エクステンションセンター

〒112-0012 東京都文京区大塚4-46-9 Tel.03-3946-9667 Fax.03-3946-2455 <https://www.toho-music.ac.jp/>